

# みんなでつなごう ちいきの輪

## 川崎区 地域づくり ワークショップ報告会

【日時】2019年5月30日(木) 14:00-16:00 【場所】川崎区役所7階会議室



川崎区では人と人のつながりを育て、安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域の方々と一緒に地域包括ケアシステムをすすめています。区内各地域ではそのための学びの場を設けたり、意見交換をするなど活発な取組が展開されているところです。

そのような中、平成30年度に行われた地域づくりの取組を報告する会が5月30日(木)に行われました。たくさんの皆さんの考え方と努力のあれこれを共有し将来に向け積み重ねていくための集まりです。ここで各地区の発表を中心に報告会の内容をご紹介します。

### 主な内容

①前半【発表】 川崎区内で行った地域づくりの取組を紹介します

#### みんなでつなごう ちいきの輪

- 渡田地区 「子育て世代を暖かく見守る地域をつくっていこう」
- 大師第1地区 「安心して暮らせる居場所づくり」
- 大師第4中瀬地区 「安心して暮らせる地域づくり」
- 小田地区 「私たちのまちをもっと住みやすい街に」

②後半【意見交換】 地域のことについて皆で意見交換します

#### みんなで話そう ちいきの輪

- コーディネーター 共育ひろば 主宰 牧岡 英夫さん

## ■はじめに

ワークショップ報告会の始まりです。

はじめに川崎区役所水谷区長よりごあいさつがありました。

「現在、全市をあげて地域包括ケアシステムの取組を進めています。川崎区でもさまざまなコミュニティ施策の一環として、一人ひとりの居場所を地域の中につくっていかうとしています。具体的にはまちのひろば（地域みんなの居場所づくりの取組）など今後地域の支え合い実践に必要な場の構築を、皆様のご協力を得て進めていますし、また学校・家庭・職場などとの接点を持たない方へのお手伝いなども必要と考えています。今日はみなさんの発表を伺いながら、これからの地域づくりについて意見交換できるひと時となりますよう、どうかよろしく願いいたします」

\*\*\*

## 【第1部】

平成30年度に実施した4つの地区の取組について報告しました！

みんなでつなごう ちいきの輪

渡田地区

## 子育て世代を暖かく見守る 地域をつくっていかう！

発表 峯尾会長（渡田地区 民生委員児童委員協議会）



### 渡田地区って こんなところだ

参考データ  
平成31年3月末現在

①人口	: 18,854人
②高齢者人口（65歳以上）	: 5,127人（27.2%）
③年少人口（0～14歳）	: 1,843人（9.8%）
うち0～4歳	: 665人
④世帯数	: 9,064世帯
うち高齢者単身世帯	: 1,299世帯（14.3%）

特徴：●町内活動が盛ん ●地域住民の見守り←民生委員・福祉協力員 ●顔の見える関係性、地域のつながりが強い  
●新しく越してきた世帯や呼び寄せの高齢者も多い

# 子育て世代を暖かく見守る地域について 講演会と意見交換を行いました。(渡田地区)

## ◆講演会「地域で若い世代を理解し見守るために」

平成30年10月19日(金) 渡田いこいの家

講師: 棒田 明子 氏 (NPO法人孫育て・ニッポン理事長)

## ◆意見交換

### 〈こんなことしてほしい〉

- ・お互いを気遣う声かけ
- ・子どもの居場所づくり
- ・自由に遊べる場が欲しい

### 〈これからできそうなこと〉

- ・子どもたちの見守りネットワークをつくる
- ・世代間交流

⇒ 妊婦さんへの声かけから始める、さりげない見守り

そして、妊娠期からの声かけで“近所の子”が“知っている子”になる

⇒ 妊婦さんに子育てサロンを見学してもらおう (声かけのきっかけづくりとして)



## 安心して暮らせる地域にするため 高齢者お茶飲みサロン、 子ども食堂を立ち上げました!

発表 青山会長(大師第1地区社会福祉協議会)

荻原さん(高齢者福祉部)

清水さん(青少年福祉部)

大師第1  
地区

### 大師第1地区って こんなところですよ

参考データ

- ①②③平成31年3月末現在
- ④平成27年国勢調査

①人口	: 21,460人
②高齢者人口(65歳以上)	: 5,367人(25%)
③年少人口(0~14歳)	: 2,218人(10%)
④世帯数	: 9,576世帯
うち高齢者単身世帯	: 1,222世帯(13%)

特徴: 大師第1地区は川崎大師平間寺の門前町として発展した地区です。年間を通じて各種のイベントが開催されているほか、各町内会単位での見守り活動も実施されています。近年では大型マンションの建設が進み、若い世代の転入が多くなってきています。



安心して暮らせる居場所について「高齢者」「青少年」の2つの部門に分け話し合いました。  
それぞれ講演会の後、グループワークを行い意見交換しました。(大師第1地区)

#### 〈高齢者部門〉

##### ◆講演会「人生100年時代!いきいきと暮らせる地域をつくろう」

平成30年11月16日(金) 大師支所

講師:後藤 純 氏(東京大学高齢社会総合研究機構特任講師)

##### ◆グループワーク

平成31年1月29日(金) 藤崎老人いこいの家

- ・行きたいときにいつでも行けて誰とでも気軽に話ができる場があるとよい。
- ・自分のことは自分でやる参加者が主体となった取組

##### ⇒ 高齢者お茶飲みサロンの試行実施

平成30年12月3日(月) 川中島神明神社社務所/参加者45人+運営者

平成31年3月4日(月) 川中島神明神社社務所/参加者44人+運営者

内容:お茶とお菓子でおしゃべり、作品づくり、地域包括支援センターの体操・血圧測定



#### 〈青少年部門〉

##### ◆講演会「子どもが元気に育っていくために地域でできること」

平成30年12月7日(金) ライフコミュニケーション川崎

講師:松井 和 氏(音楽家・作家・元埼玉県教育長)

##### ◆グループワーク

平成31年1月28日(月) 大師支所

- ・子ども本人が楽しめて高齢者と交流ができる場所があるとよい。
- ・将来地域に帰って来られるように小学生から未来の担い手を育てる。

##### ⇒ 子ども食堂の試行実施

平成30年8月23日(木) 藤崎町内会館/参加者22人+運営者

内容:食事(カレーライス、フルーツポンチ、かき氷)、

イス取りゲーム、テーブルテニス、

ヨーヨー釣り



# 安心して暮らせる地域にするため ちょっと気になる方への 見守りを実施しました。

大師第4  
中瀬地区

発表 渡邊会長 (大師第4地区中瀬2丁目町内会)

## 大師第4中瀬地区って こんなところです

参考データ

平成30年3月末現在

①人口	:17,331人
②高齢者人口 (65歳以上)	:3,624人 (21%)
③年少人口 (0~14歳)	:2,652人 (15%)
④世帯数	:8,423世帯
うち高齢者単身世帯	: 828世帯 (10%)

特徴：川崎大師平間寺の門前町として発展した地区で、羽田空港へも近く、多摩川を挟んで大田区と接しています。昭和、東門前2丁目、大師町、中瀬2丁目は高齢化率25%を超えている一方で、中瀬3丁目、東門前3丁目はマンション住まいの子育て世代が多いのが現在の傾向です。また大師いこいの家は高齢者の活動の場となっていますが、中瀬方面から少し遠いと感じられている、という一面があります。



## 安心して暮らせる地域にするために 見守りの実施や勉強会、意見交換を行いました。

### 【個別のアプローチ】

#### ◆地域のキーパーソンとなる方と連携して

ちょっと気になる方への見守りを実施

・茶話会のボランティアさんとともに気になる

一人暮らしのKさんを見守り

→保健師、地域包括の職員とともに訪問なども

→このケースについての話し合い

#### ◆人生100年時代に備える勉強会「老いを学んで健康を維持しよう」

平成31年4月21日(日) 中瀬2丁目町内会館

講師：後藤 純 氏 (東京大学高齢社会総合研究機構特任講師)



## 【集団のアプローチ】

〈人生100年時代どういう準備が必要か、健康を維持するためにやりたいこと〉

### ◆グループに分かれて話し合い・発表

- ・自分自身の健康維持、自立した生活
- ・趣味の集まり
- ・多世代の交流など

## message

この日は大師第1地区「高齢者部門」と、大師第4地区の勉強会で講演を担当していただいた**後藤 純氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任講師）**が会場にお見えになっていましたので、メッセージをお願いしました。

「気になる人を隣人として支えてあげたい気持ちがあっても、地域の中にその人の問題解決につながるようなシステムが整備されていないと住民としては交流を深めていきにくいと考えられます。出口をしっかりと用意してこそ、入口の部分を住民が積極的に受け持つことができます。地域は「支え合うため」だけにある訳ではなく、お祭りなどの楽しい付き合いの中でこそ助け合う気持ちも育ってくる、だからこそ交流を『厄介ごと』と感じなくてすむ仕組みづくりは重要ですね」  
先生の講演にもあったとおり「心から通いたいと思える居場所づくり」を通して社会参加をする気持ちを育てて行くことが求められていると感じます。



# わたしたちのまちをもっと住みやすい街にあいさつをテーマに取り組んでいくことにしました！

発表 陶山会長 (小田地区社会福祉協議会) 庄司さん (理事) 山崎さん (理事)



## 大師第4中瀬地区って こんなところですよ

参考データ

①②③平成31年3月末現在 ④平成27年国勢調査

①人口	: 32,709人
②高齢者人口 (65歳以上)	: 7,682人 (23.5%)
③年少人口 (0~14歳)	: 4,419人 (13.5%)
④世帯数	: 14,041世帯
うち高齢者単身世帯	: 1,629世帯 (11.6%)

特徴: 小田地区は狭い路地と木造を中心とした住宅が密集しています。高齢者・単身高齢者も多い傾向です。また一方で近年では、工場跡地に建ったマンションを中心に子育て世代が増えています。平成28年に「小田栄駅」が開業し、交通の利便も向上してきています。

私たちのまちをもっと住みやすい街にするために  
講演会と意見交換を行いました。

### ◆講演会「人と人のつながり作りによる地域づくり」

平成30年11月16日 (金) 田島中学校

講師: 倉岡 正高 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所)

### ◆グループワーク・話し合い

〈地域の課題として感じていること〉

- ・子どもたちに気軽にあいさつできない
- ・声かけできない人たちが心配
- ・子育て世代との交流が少ない

⇒ きっかけとして、まずは「あいさつ」を特別なこととして取り組む！

## ◆ワークショップ

平成31年3月9日(土) 田島中学校

- ・話し合い(あいさつに関する思い出、気持ちや思い)
- ・グループ発表(こんな「あいさつ」をしてみよう)

〈あいさつをしにくいと感じていること〉

- ・世代の違う方にはあいさつしにくい、  
子どもたちに不審者と警戒されないか心配
- ・顔見知りになるきっかけがあるとよい

⇒ あいさつをテーマとしたイベントの開催や  
グッズの作成



## message

この日は小田地区の講演をお願いした**倉岡 正高 氏(東京都健康長寿医療センター研究所)**も会場にお見えになっていましたのでメッセージをお願いしました。

「すごく話が盛り上がっている。人と人の距離感が近いまちということが印象に残りました。子どもの挨拶ができていくまちでは地域への愛着や高齢者を大切に思う度合いが高い、などの資料もあります」と感想を述べてくださいました。倉岡先生には講演の中でも「多世代交流のある活動は根つきやすく地域への効果も高い」といったことをご紹介いただき、あいさつなど心の支えあいから始め、交流と居場所づくりに繋げ、日常の中での助け合いまで関係を深めていくという考え方を示していただきました。





## 【第2部】

地域のことについて意見交換しました！

### みんなで話そう ちいきの輪

#### ■意見交換

後半は、地域ごとの発表を踏まえて、参加した皆さんの考えを出し合いました。

『共育ひろば』主宰 牧岡英夫さんの司会でテンポよく話題が展開します。牧岡さんは現在、川崎市の地域包括ケアシステムネットワーク会議で議長を務めておられるご縁で、報告会のコーディネーターをお願いしました。



## ●参加者からの質問と発表者の回答

まず、発表者の皆さんに登壇いただきパネルディスカッション形式で参加者からの質問に答えていただきました。質疑応答のいくつかをご覧ください。

### 子育てサロンについて

**A** 子育てサロンなどで、お母さんたちの情報交換がしやすいように乳幼児の面倒を見てあげたりしています。みんな気持ち良さそうに寝てしまい、可愛いですよ。

### 見守り活動の 現在の問題点は？

**A** 活動の中で中心になってくれる人が育ってくると良いと思います。また、なかなか「会ってもらえない」などの課題があり、それを克服するために粘り強い継続が必要だと思っています。

### 地区社協や町内会との 関係は？

**A** 地域にはさまざまな役割を担う人がいますが、なんでも連携し協力し合っています。

### 人材をどのように 育てていますか？

**A** 成り手のいない現状で正直困っています。定年前後の世代に声をかけたり、対応策を考えているところです。

### あいさつ運動 とてもいいですね！

**A** 話し合いの中では、単純に声をかけることの難しさも見えてきました。子どもたちへのあいさつを中心に今後取組を広げていきたいです。

### 介護中の家族との交流は どうしていますか？

**A** 地域の者同士大切なことですが、現在はできていないと思います。ただ訪問時に会うのはまずご家族なので様子を伺うなどの会話は欠かさないようにしています。

## ●参加者のコメント

実際に活動中の方や、地域の支援を行っておられる施設の方からもこんな声をいただきました。



### まちの縁側として活動している工藤さん



「まちの縁側」の取組で地域の人が気軽に集まれる、よりオープンな雰囲気のある居場所を提供しています。これは住民が自分の駐車場を使って自分たちの手でカフェをやろう、という発案から始まったものです。同じく地域の活動をしているパン工房などから仕入れも行いながら、幅広い交流の輪が広がってきています。

### 介護老人福祉施設桜寿園の仁科さん



私自身、川崎区の住民でもありここで子育ても終わりました。振り返ると地域の皆さんからたくさんお世話になっていますし、自分はこのからの地域の担い手になれるのだろうか、といった想いもあります。やはり自分の生活の中で関わって初めて地域の直面する問題にも気づくことも多いのだな、と感じています。施設職員としての立場だけでなく、一人の担い手として地域との向き合い方を真剣に考えていきたいです。



### ●まとめ

コーディネーターの牧岡さんはまとめとして「この報告会には川崎区に住んでいる人や地域のために活動中の人、地域の皆さんを支援する人、行政の関係者などさまざまな立場の方々にお集まりいただきました。それぞれの立場から考えを出し合い、次のステップへ向けて持ち帰ろう、そんな集まりになったのではないのでしょうか」と、締めくくってくださいました。限られた時間の中でたくさんの声を引き出していただき、ありがとうございました。

### ■閉会

川崎区社会福祉協議会の松村事務局長より閉会のごあいさつをいただきました。

「本日は4地区の発表を中心に、多くの皆様のお考えを伺うことができ、ありがとうございました。地域包括ケアシステム構築の取組は4年目に入りました。「次はどんなことをやろう」「なにが必要だろうか」などたくさんの現場でアイデアを出し合い、試行錯誤を続けております。そういう活動の中から、つながりの輪を広げていこうとしておりますので、皆様これからもよろしくお願い申し上げます」



## アンケートから

アンケートの中で、会場に見えた皆さんの感想をいただいています。

- ・地域づくりがこんなにも広がってきているのを実感しました。
- ・自分が住んでいる地域に何が出来るか考えたいと思います。
- ・他の地区の報告を聞いていろいろと勉強になりました。

ありがとうございました。

## ■最後に

私たちの暮らし、私たちのまちが変わっていくためのアクションを、今みんなが起こし始めています。少し耳を澄ますと地域のあちこちから「私たち自身による地域づくり」の声が聞こえてきます。一人ひとりが安心して暮らせる地域づくりは自らの手で。みんなが声をかけ合って次の時代への歩みを確かめてまいりましょう。



川崎区内で、  
地域づくりのこれからに  
興味をお持ちの方はこちらまで

**川崎区役所  
地域みまもり支援センター  
地域ケア推進課  
電話044-201-3203**